



令和5年度 地域の気候変動適応推進に向けた意見交換会 グループディスカッションの概要説明

令和5年12月22日（金）

気候変動適応センター 田中弘靖



グループディスカッションの目的、プログラム

■ 目 的

- LCCACの中長期（5-10年）的な“あり方”をグループに分かれて検討し、お互いの気づきを得て視野を広げるとともに、その検討内容を今後の施策につなげる基礎資料として活用する。

■ プログラム

- グループディスカッション（GD）は、テーマ別に2回開催し、両方に参加いただきます。
- 概略の流れは以下のとおりです。

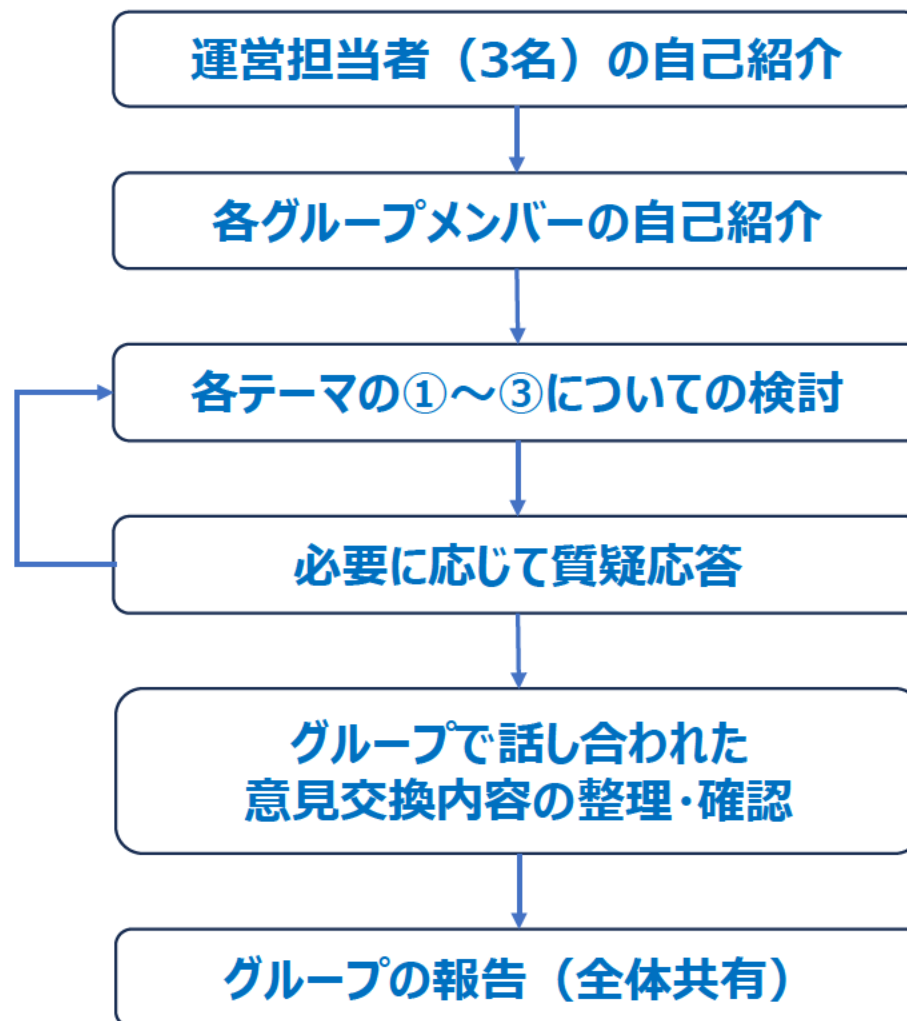
No.	時間		内 容	発表者
1	13:30-14:10	40	グループ別意見交換会① 意見交換	各グループ
2	14:10-14:30	20	発表（10グループ）	
	14:30-14:40	10	（休憩）	
3	14:40-15:30	50	グループ別意見交換会② 意見交換	各グループ
4	15:30-15:50	20	発表（10グループ）	

■ 進行方針

- ① 研修会ではなく意見交換会ですので、積極的にご発言ください！
- ② 国環研担当者が司会進行役を務めます。
- ② 意見交換の調整役をLCCACおよび環境省のご担当者にお願いしましたので、適宜意見交換会の円滑な運営にご協力ください。
- ③ 国環研担当者が書記を務めます。ご発言の際は書記が記述しやすいよう簡潔に要点をお話してください。
- ④ GD終了後に各グループから報告いただきます。報告は調整役の方もしくはグループ内で決めた発表者をお願いします。
- ⑤ 発表の際、書記が記入した「情報共有シート」を投影しますのでご活用ください。
- ⑥ なお、情報共有シートは、後日出席者の間で共有いたしますので、ご承知おきください。発言は特定できない形とします。

グループディスカッションの進め方

■ GD各Partの進め方



■ GDのテーマ

※Part1 「活動の課題を共有する」

- ① 以下の業務内容（5分類）について、**これまで成果を上げてきた業務**は？
a.情報基盤整備、b.調査研究、c.施策支援・提言、d.普及啓発・教育、e.ステークホルダー連携
- ② **これからさらに取り組みたい**（成果を上げていきたい） **業務**は？
- ③ **取り組む上での課題**は？

※Part2 「LCCACの将来像を検討する」

- ① **理想とするLCCACの将来像**、取組の方向性は？
- ② **そのためには何が必要か**？（課題解決に向け何が必要か。何が解決できれば理想に近づくことができるか？）
- ③ **環境省、国環研、他のLCCACへの要望**は？

グループディスカッションの役割分担

■ グループ内の役割分担

⇒グループのメンバー構成は、配布した一覧表の通りです。

⇒各グループに3名の運営役を配置しています。

グループ 番号	司会進行 (国環研)	調整役	書記 (国環研)	GD Part1	GD Part2
A	上田	朝原（中国四国 地方環境事務所）	山本	多様な 組合せ	自治体単独 自治体＋研究機関 他
B	砂川	神谷（静岡）	岩渕		
C	藤田	横溝（愛媛）	成嶋		
D	真砂	樋口（三重）	濱		地環研 研究機関
E	花崎	田澤（神奈川）	高橋奈		
F	伊藤	嶋田（埼玉）	廣安		
G	石崎	浜田（長野）	根本		
H	岡	恵本（山口）	中川		基礎自治体
I	町村	米田（近畿 地方環境事務所）	吉田		
J	大山	田中貴（川崎）	川畑		

「共有シート」の記入

■ シートへの記入

- 国環研担当者が書記を務めます。ご発言の際は書記が記述しやすいよう簡潔に要点をお話してください。

「情報共有シート」

■ Part1 「活動の課題を共有する」

② これからさらに取り組みたい（成果を上げていきたい）業務は？

a. 情報基盤整備、b. 調査研究、c. 施策支援・提言、d. 普及啓発・教育、e. ステークホルダー連携



<ヒアリング情報>

- 影響評価結果を、自治体の施策に反映する。(c)
- 発信した情報をどのように施策に活かすか、インタープリターとしての役割を実践する。(c)
- 熱中症関係の分析や施策の実施。(b,c)
- 構築の進んだ基盤的な情報整備を継続する。(a)
- 地域における適応策事例の収集。(a)
- WebGISによる情報発信を行う。(a,d)
- 若年層への普及啓発を行う。(d)
- 研究成果の理解・分析・発信。(a,c,d,e)
- 基礎自治体のニーズの把握・業務支援。(c)
- 中小企業向けの適応推進支援。(d,e)

<グループ内の検討内容>

- ・○○○
- ・○○○
- ・○○○

「情報共有シート」

■ Part2 「LCCACの将来像を検討する」



① 理想とするLCCACの将来像、取組の方向性は？

<ヒアリング情報>

- 気候適応関連情報がワンストップで手に入る情報の拠点。
- 地域における相談窓口。
- 適応策を実装する方策と一緒に考える場づくりが重要。プラットフォームとしての機能、土台を提供する。
- 自然災害分野は進んでいるが、LCCACが他分野において協力できるのではないか。
- 自治体独自の気候変動影響評価を実施する。
- 既存研究の成果を自治体に展開する橋渡しを行う。

<グループ内の検討内容>

- ・○○○
- ・○○○
- ・○○○

・○○○

■ GDの報告

- GD終了後、議論いただいた内容について、各グループの代表者からご報告いただきます。
- 発表時間は2分以内でお願いします。
- 発表時間が限られていますので、発表する際は既に話題に上った事項は割愛し、極力新しい視点や論点に絞ってご報告ください。
- 各グループの情報共有シートを投影しますので、必要に応じてご活用ください。
- 他グループで議論された内容に耳を傾け、ご自身の活動に活用できる点がないか考えてみてください。
- 質疑応答の時間がとれないため、ご質問があれば司会もしくは書記にお言付け願います。該当者に回答をいただき共有するなど、事務局が仲介いたします。

